

備えあれば憂いなし

平成かわら版

やまぐち

平成22年10月1日
第62号
(毎月1日発行)
中津川市
山口総合事務所
(0573) 75-2126



未来は消防士・・・?
訓練は子どもも頑張りました



消火器を用いた初期消火訓練



避難経路や過去の被災箇所を
書き込み、改めて危険箇所が
確認できました(写真上・右)
11区集会所図上訓練



中津川市総合防災訓練実施

8月29日、市内一斉に大規模地震の発生を想定した総合防災訓練が行われ、山口地区では五百五十人を超える方が参加しました。

山口地域では一時避難所となる十二か所の各集会所を、馬籠地域は峠農業研修センター、馬籠ふれあい広場をそれぞれ訓練会場とし、朝9時のサイレン吹鳴を合図に避難・訓練を開始しました。

第11町内会では、住民17名が大きな地図を使って、図上訓練を行ないました。地図上に車が通行可能な道や人が通れるだけの道を塗り分けて避難経路を確認したり、過去の被災箇所を記入して危険箇所を把握することで、災害に関する情報の共有を図りました。

馬籠ふれあい広場では、『馬籠のめ組』が中心となり、消防団員の指導のもと、消火器や可搬ポンプを使った初期消火訓練を行いました。

防災訓練を通じ「自分の命は自分で守る」「自分たちの地域は自分たちで守る」という『自助・互助』の意識が高まり、各家庭においても防災の備えを今一度見直す一日となりました。

馬籠地域にAED設置 大切な命を守るために

馬籠地域で暮らす人々との地を訪れてくださる観光客の命を守るため、峠・馬籠・荒町にそれぞれ1台ずつAED（自動体外式除細動器）の寄付がありました。

心停止した人に対しては、早期に心肺蘇生法とAEDを用いた電気ショック（除細動）を行うことが、救命率アップに繋がります。

いざというとき、慌てず確実にAEDを使用できるように今は各地域で救命講習会を予定しています。

積極的に講習を受講し、皆さんの身近な人を救えるよう備えましょう。

AEDとは

心室細動などによる心停止者に電気ショックを与え、正常な心臓の動きを取り戻させる医療機器で、電源を入れると、救助者に対し音声指示が流れ、指示に従い操作すれば、電気シ

ョックの必要性を機械が自動判断し、医療関係者以外でも安全に使用できます。



荒町区は馬籠自然休養村センターに



馬籠区は馬籠集会所に



峠区は峠農業研修センターに

救急救命講習で命を守る

8月21日、山口公民館で救急救命講習会を開催しました。消防署の救急救命士が講師となり、心肺蘇生や三角布を使った応急手当、AEDの取り扱いを学びました。また、毛布を使った応急担架の作り方など、資機材がなくても臨機応変により対処するテクニックも併せて学びました。

今回の講習会は山口地域から約30名が参加し、3時間の日程終了後、受講者には普通救命講習修了証が交付されました。

緊急時に、慌てず的確な人命救助活動を行うためには定期的に講習を受講することが必要です。今後このような講習会を続けていく予定ですので、ぜひ参加してください。



いざやってみると重労働です（心臓マッサージ）

災害時に役立つよう 戸別受信機の適正管理を！

現在、山口地区で使用している防災行政無線は、設置後約30年を経過し、老朽化が進んでいます。

市でも無線施設など定期的な点検を行い、不具合がある場合は修理を行うなどの対応をしておりますが、良好な状態で使用していただくため、各家庭の受信機についても今一度次の点についてご確認ください。

- ☞ 乾電池は1年に1回を目安に交換してください
- ☞ 受信状況が良くない場合は、まずアンテナの向きを調整するなどして様子を見てください
- ☞ 次のような場合は修理が必要ですので、山口総合事務所まで受信機をご持参ください。
 - ・放送が終了しても雑音が鳴り止まない
 - ・乾電池ケース内の端子に腐食がある

祝道の駅「賤母」

開駅15周年

9月4・5日の両日に、道の駅『賤母』開駅15周年感謝祭が山口特産開発主催、中津川市・山口農産物等直売組合共催により開催されました。

これは、利用者への日頃の感謝と、更なる周知・発展を目的として行われたものです。

公募により出店したフリーマーケット、お楽しみ抽選会、時代装束での観光案内など、チラシを見て立ち寄った方や、ドライブの途中にふと立ち寄った方など多くの方たちを楽しませてくれました。

両日を通し、3斗のもち米で作った紅白の祝い餅が配られ、皆さん笑顔で受け取っていました。



何かいいもの当たるかな？
(お楽しみ抽選会)

賤母「川と緑の公園づくり」

着々と整備

昨年4月18日に関西電力労働組合東海地方本部・中津川市・中津川市職員組合・山口地域づくり推進協議会の4者が「賤母の森 川と緑の公園」づくり協定書を締結し、年数回の草刈清掃や、つつじ等の植栽を行っています。

9月12日に今年度4回目の作業を行い、作業後に交流会を行いました。



大人数分の焼きそば作り
暑期中頑張ってくれました

交流会では、各団体が焼きそば・焼肉・飲み物・冷やし野菜・かき氷・ごへーもちなどのコーナーを受け持ち、各コーナー自慢の味に舌鼓を打ちました。ま

た用意されたビンゴゲームでは、大変盛り上がり、賞品を手に入れたラッキーな皆さんは、大喜びでした。

当日は大変暑い日でしたが、作業に汗を流し、野外での食事を楽しみ、ビンゴで交流を深め、充実した時間を過ごせました。

「山口農産物等直売組合」便り



9月に入っても夏日の更新が続き、適度のお湿りの恵みをも忘れたような気候で農作物に影響が出ています。

組合員の努力にもかかわらず生鮮品(野菜、果物)の出荷量が落ち込み、前年実績の70%台にとどまり、賤母の直売所は毎日午前中に品切れ状況になる日が続いています。

8月はお客様の「トウモロコシは？」の声をたびたび耳にしましたが、気象のほかに鳥獣害(ハクビシン、猿、鳥、猪)の影響を受け出荷量がめっきり少なくなり、期待に応えることができませんでした。

第23回

ふるさと馬籠ごへー祭り

開催のお知らせ

平成22年10月31日(日)
午前9時30分〜



23回の歴史と、地域を挙げての取り組みが県内外からの集客を呼び、今や中津川市を代表する祭りになりました。
今年も「もてなしの心」を忘れず、地域一丸となって祭りが開催できるよう協力をお願いします。

ふるさと馬籠ごへー祭り

実行委員会

山口Uイーターン者用住宅 工事の安全を祈願

来年4月の入居を目指し、現在事業が進められている山口地区Uイーターン者用住宅ですが、いよいよ建物本体の工事準備が整い、9月11日、市長、市議会議長、地元区長、工事関係者など約30名が出席して、工事の安全を祈願しました。

大山市長からは、「小学校の複式化が懸念されている中、山口地区の特色を生かし、核としていきたい。」とUイーターン住宅にかける意気込みと「地域に温かく迎え入れて頂き、土地・空き家などのお世話をお願いしたい。」とのあいさつがありました。



関係者を前に大山市長があいさつしました

夏休みに陶芸体験！ 講師に馬籠の中道さん

8月21日、山口公民館でわくわく体験くらぶの第4回を開催しました。山口、坂下、川上の小学生31人が登録しており、3月末まで11回の講座を開催します。

今回は荒町3町内会の中道と廣さんを講師に、陶芸に挑戦しました。

低学年を対象とした午前の部では、10人がクマの顔をモチーフにした状差しを作りました。板状に伸ばした粘土を型紙にあわせて切り抜いて、貼り合わせたり、線を彫り込んだりして立体的に仕上げました。壁にかけて手紙やメモ、小物などを入れるのが楽しみです。

高学年が多かった午後の部では、11人が大皿に挑戦。四角い粘土をボール状に丸めてから、叩いて円形に伸ばし、縁を持ち上げて皿にしました。どんな料理を載せようか、悩みながら形を整える微笑ましい姿も見られました。

作品が焼き上がるのはもう少し先になりますが、陶芸に取り組んだ一日が夏休みのよい思い出になることを願っています。



粘土を丸めて大皿を作ります



クマの顔の状差しです

美しいチェロのハーモニー

8月22日、馬籠ふるさと学校体育館でチェロのコンサートが行われました。

このコンサートは、同校で合宿を行った『才能教育研究所・中島クラス』の皆さんが合宿の成果発表として行ったもので、昨年5月に続き、今回で2度目となります。

合宿には、遠くは九州から、約130名が参加したそうです。普段あまり目にできない大人数でのチェロのアンサンブルに、会場を訪れた方は心地よい時間が過ごせたようです。



チェロの美しい調べに会場はうっとり...